

令和7年度 学 校 評 価 報 告

草加市立新栄小学校

(令和8年2月5日作成)

1 学校教育目標 ○なかよく : 豊かな人間性とコミュニケーション ○かしこく : 学ぶ意欲と確かな学力 ○たくましく : 心身の健康と体力 【目指す学校像】 一人ひとりの子どもが輝く学校	
2 重点目標・努力目標 ・確かな学力を育む教育の推進 ・豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進 ・体力向上・健康教育の継続 ・一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談の推進 ・安全で潤いのある教育環境づくり ・地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進 ・学校事故の防止と教職員事故の根絶	3 前年度の成果と課題 成果 ○保護者の学校評価アンケートで多くの項目で高評価を得た。(17項目中13項目) ○児童一人一人に寄り添った支援により、落ち着いて学習できる児童も増えてきた。 課題 ●関係機関との連携を密にして、組織的に対応していくことにより、問題行動やいじめの未然防止、早期発見、早期解決や不登校の解消につなげていく。

4 評価表 ※評価基準 [A: 十分達成している B: おおむね達成している C: やや不十分である D: 不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○学校経営目標や方針について共通理解を図り、教職員が協働・協力して目指す学校づくりを推進した。 ●学期ごとに学校経営の重点を確認し、重点を意識した教育活動を展開する。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○外部から指導者を招き、研究推進委員長を中心として、教職員が主体的な研修を進めることができた。 ●充実した取組を次年度にしっかりと引き継いでいく。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○学級閉鎖期間もオンラインや家庭学校連絡システムを活用し、健康状態の把握に努めた。 ○けが・体調不良が生じた際は、速やかで丁寧な保護者への連絡が実践された。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○事故防止研修会を通じ、個人情報の管理、情報漏洩の防止などへの意識を高めることができた。 ●空き教室等の整理整頓、有効利用に取り組む。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○年4回の学校運営協議会に加え、中学校区でも合同学校運営協議会を実施し、多くの委員の皆様が学校経営にご意見をいただくことができた。 ○持久走大会や体育学習発表会などの各種行事の手伝いや新栄小まつり運営等、PTA活動が積極的に行われた。

⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○標準カリキュラムを確認しながら、指導内容について、幼保や中学校とのつながりを意識して授業実践することができた。 ●次年度の発表に向け、取組を一層充実させる。
--------------	---	---	--

(様式1・小学校用②)

草加市立新栄小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○日課表の工夫により、教職員の教材研究等の時間を確保し、負担軽減を図ることができた。 ○教育計画通り学習を工夫し、授業時数を確保することができた。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プランに基づく授業改善を行い、学校全体としての学力向上や教職員の指導力の向上につなげた。 ●若手教員の学級経営を核とした指導力・授業力向上を図る。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育推進教師が授業を公開し、若手教師の道徳の授業力向上に努めた。 ●校内研修を活かし「考え、議論する道徳」の一層の充実を図る。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・各教科、道徳教育との関連 ・中学校との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語専科教員とALTが連携を図り、笑顔あふれる外国語の授業が行われた。 ○指導計画に基づいて、児童が外国語に慣れ親しむことができた。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○代表委員会を中心に様々な児童会活動が行われ、学校生活を充実させることができた。 ●学校生活をより良いものにするために、児童会や各学級で進んで取り組んでいく。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットを積極的に活用することにより、学習活動を充実させることができた。 ●引き続き、主体的な学習や体験的な学習、ICTを活用した授業を推進する必要がある。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、児童理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導主任を中心に共通理解を図り、組織的に問題行動への対処を行うことができた。 ●組織での発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導をより一層充実させ、一丸となってよりよい人間関係を醸成していく。

⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化 	B	<p>○キャリアパスポートの活用により、児童の変容や成長を家庭と共有することができた。</p> <p>●各教科等におけるキャリア教育の視点を意識した指導の一層の充実を図る。</p>
⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備 	B	<p>○保護者と連携し、児童一人ひとりの教育ニーズに応じた個別の指導計画・教育支援計画に基づき、指導方法を工夫しながら教育の充実に努めた。</p> <p>●各種調査を生かし、児童の実態に応じた効果的な支援の充実・改善を行う。</p>
⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫 	A	<p>○保護者や地域のボランティアによる読み聞かせが定期的に行われ、子供たちは物語を身近に感じることができた。</p> <p>○学校司書や図書委員会を中心に、アイデアを出し合い、より本や読書に親しんでもらうためのイベントに取り組むことができた。</p>
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	B	<p>○タブレット端末等のICT機器やデジタル教材を効果的に活用し、学びをより確実なものとすることができた。</p> <p>●保護者と連携を図りながら、スマートフォンやSNSの使い方を含め、児童の情報モラルの意識を向上させる。</p>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<p>○人権課題を扱ったDVD視聴で児童の人権尊重意識を高めることができた。</p> <p>●児童一人一人に人権感覚を身につけさせるため、継続的な指導をおこなっていく。</p>

(様式1・小学校用③)

草加市立新栄小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①食育	・多種多様な給食活動	A	<p>○学校保健委員会では、民間企業から講師を招聘し、食をテーマとした講話を聞くことができた。多くの保護者の参加があった。</p> <p>○昨年に続き、異学年の交流給食を行い、楽しく食事をする姿が見られた。</p>
	②安全安心・美のある学校	・安全で美しい環境整備	B	<p>○昨年度新たに設置した花壇を有効活用し、花の絶えない美のある学校になっている。</p> <p>●引き続き、倒木による危険防止のため、古木の伐採が必要である。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・保護者の学校評価アンケートでは、評価項目17項目中、7割以上の13項目で「できている」「だいたいできている」の高評価（90%以上）を得た。特に「相手を思いやる」「学習の約束を守る」「いじめ、不登校、暴力の根絶」「安全で安心な学習環境」「家庭との連携」「家庭学習の推進」の6項目で95%以上の家庭から高評価を得ている。
- ・今年度も、保護者・地域の方が見守ってくださり、大きな交通事故もなく子供たちが登下校等、過ごすことができた。
- ・各種アンケートや調査を家庭学校連絡システムに切り替えたことにより、教職員の負担軽減につながった。
- ・児童一人一人に寄り添った支援を行うことで、落ち着いて生活できる児童も増えてきている。

6 次年度の改善策

- ・保護者の学校評価アンケートでは、「丁寧な言葉づかい」「積極的に学習する」「好き嫌いをなく食べる」「机、ロッカー、くつ入れ等の整理整頓」についてできていないと感じている割合が、他の候質問項目に比べて多い傾向にある。特に「丁寧な言葉づかい」や「好き嫌いをなく食べる」など生活習慣については、家庭と学校が一丸となって取り組むことが重要である。引き続き、家庭への啓発と粘り強い指導をおこなっていききたい。
- ・全教職員が心身ともに健康で持続可能な教育活動の実施のため、さらに働き方改革を進めていく必要がある。
- ・持続可能なPTA活動の実施のため、PTA本部と連携しながら役員に係る業務の負担軽減を進めていく。